

## 兵庫県のタマムシ(3)\*

高橋 寿郎

### 51. *Agrilus tibialis* Lewis, 1892

ホソアシナガタマムシ

体長, 4.5-7.0mm. 体色は青緑, 青, 紺, 唐金色と変化に富む。内側隆線は弱く, 短く, 弧状で側隆線に結合しない。上翅は翅端近くの会合部に沿って銀白色毛を生じる。シテ類, カシ類につく。

兵庫県下に広く普通に産する。

産地。川辺郡猪名川町木間生〔仲田, 1978, 1982〕, 内馬場〔仲田, 1978, 1982〕。川西市一の鳥居, 笹部〔仲田, 1978, 1982〕。宝塚市香合新田〔伊藤, 1992〕。西宮市角石町〔芦田, 1983〕。神戸市山の街〔1ex., 1.VI.1958〕, 烏原〔1ex., 3.V.1983, etc.〕, 谷上〔7exs., 25.V.1958〕, 藍那〔4exs., 8.VI.1969〕。龍野市神岡町〔1ex., 26.V.1988, etc.〕。相生市三濃山〔1ex., 18.V.1974〕。宍粟郡福知溪谷〔1ex., 3.VI.1975, etc.〕, 赤西〔1ex., 3.VI.1979, etc.〕。多紀郡篠山町小金岳〔辻, 1970〕。美方郡鉢伏山〔1ex., 4.VI.1975, M.Yuma leg.〕, 扇の山〔辻, 1970, 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1982〕。

### 52. *Agrilus trinotatus* E.Saunders, 1873

ミツボシナガタマムシ

体長, 4.5-7.0mm. 前胸背には明瞭な中央溝をもつ。内側隆線は弧状に湾曲し, 中央付近に達するが側隆線には結合しない。上翅は中央付近に大きなぼやけた毛斑をもち, 後方1/3の会合部に小さな白色斑をもつ。

県下の分布はほとんど知られていないが神戸市内烏原貯水池畔には極めて多く産する。

産地。神戸市烏原〔1ex., 12.V.1980, etc.〕, 藍那〔1ex., 26.V.1993〕, 赤穂市生島〔相坂ほか, 1995〕。

### 53. *Agrilus viduus subdividus* Y.Kurosawa, 1957

ベニナガタマムシ

体長, 5.8-9.5mm. 複眼の内縁は波曲しながらわずかに下方へ収斂する。頭楯は触角孔間で明らかに幅広, 内側隆線は短く強く湾曲する。ケヤキ, ハルニレにつくといわれているが県下からの記録は一例のみである。

産地。宍粟郡赤西〔1ex., 10.VI.1973, H.Hatanaka leg.〕。

### 54. *Agrilus viridiobscurus* E.Saunders, 1873

アオグロナガタマムシ

体長, 3.7-5.5mm. 顔面は前方へやや突出し, 複眼の内縁にほぼ平行, 内側隆線は波曲しながら前角近くにまで達し, 側隆線に結合する。上翅は様に金褐色短毛で被われ, 先端はやや裁断状。前胸腹板突起の先端は3つに分ける。

ヒメヤシャブシ, イヌシデ, アブラチャン, オニグルミ, マンサク, ケヤキなどにつく。兵庫県下には広く分布していそうである。

産地。宝塚市香合新田〔伊藤, 1992〕。神戸市烏原〔1ex., 2.VI.1974, etc.〕, 丹生山〔1ex., 25.V.1958〕, 逢山峽〔1ex., 24.VI.1989〕。朝来郡生野〔1ex., 8.VII.1956〕。宍粟郡音水〔1ex., 11.VI.1972, etc.〕〔辻, 1970〕, 赤西〔1ex., 21.V.1972, H.Hatanaka leg.〕。

### 55. *Agrilus yamabusi* Miwa et Chujo, 1940

ヒコサンナガタマムシ

体長, 4.5-5.5mm. 三輪勇四郎・中條道夫両博士により安松京三博士が九州英彦山にて採集されたもので, 上記のごとく新種記載された種である (Nippono Kochu, Vol.3, No.2, p.55, 63-64, pl.VII, f.9, 1940)。

黒沢良彦博士が浦和市-埼玉県, 井ノ頭-東京, 大台ヶ原-奈良, 福智山-福岡県産で *Agrilus acastus nakanei* Y.Kurosawa (ナカネナガタマムシ) と記載された種 (Bull. Nat. Sci. Mus. Vol.6, No.2, p.106, 1962)。Type loc. Akane Rindo, Haranomachi, Fukushima Pref. によって遠山雅夫が新種記載した *Agrilus ohmomi* Toyama オオモモナガタマムシの両者すべて本種のシノニムになる。

三輪勇四郎・中條道夫両博士もカラー図説されているが(1940), 黒沢良彦博士も原色昆虫大図鑑第2巻(甲虫編)でナカネナガタマムシとしてカラーで図説されている (pl.77, f.22, p.154, 1963)。

カシ類につく種とのこと。兵庫県下には広く分布しているように思われる。

産地。神戸市西区伊川谷〔4exs., 19.V.1988, etc.〕。龍野市神岡町〔1ex., 26.V.1988〕。宍粟郡赤西〔♀-allotype, 24.VI.1975, M.Toyama leg. ♂-paratypes, 24.VI.1979, M.Toyama leg., Toyama, 1985. ♀, 26.VII.1982, M.Yagi leg., Toyama, 1985〕。

\* 兵庫県甲虫相資料・349

56. *Agrilus yamawaki* Y.Kurosawa,1957

コクロナガタマムシ

体長,7.0-12.0mm. 福岡県の福智山にて採集された標本をタイプとして,黒沢良彦博士が記載された種である(Bull. natn. Sci. Mus., Tokyo 3(3):193-194, 1957). 複眼の内縁は強く波曲し,下方へ収斂する。内側隆線は強く波曲し,前方1/4付近で側隆線に結合する。上翅は灰色短毛からなる点紋を,中央付近に波状帯を後方1/4にそなえ,翅端も同様の短毛にて被われるが,これらの毛斑は時に消失する。カラスザンショウにつく。

県下の分布はあまり多くない。

産地. 川辺郡猪名川町槻並[仲田,1982]. 神戸市北区八多町屏風(1ex.,4.VI.1993). 宍粟郡赤西[辻,畑中,1973], 音水(1♂,11.VIII.1976,T.Takahashi leg, 遠山,1980). 美方郡浜坂町城山[黒井,1995].

Subfamily *Cylindromorphinae* Portevin,1931

ホソツツタマムシ亜科

Genus *Paracylindromorphus* Théry,1928

ホソツツタマムシ属

57. *Paracylindromorphus japonicus* (E.Saunders, 1873)

ホソツツタマムシ

体長,4-5.5mm. 頭胸部にはまるいあばた状の点刻を散布,上翅の横じわは基半部で強く,後方1/3ではほぼ消失する。翅端は不明瞭な微細な小歯を並べる。ススキの茎につく。県下の記録は少ないが,ススキを注意すればもっと見られると思う。

産地. 神戸市押部谷町木見(1ex.,23.VI.1980). 美婁郡吉川町(1ex.,27.VI.1985). 水上郡[山本,1958].

58. *Paracylindromorphus richteri* Thery,1936

アラメホソツツタマムシ

体長,4-5mm. 前記種に似ているが細形,前胸背板は後方に狭まり,上翅の皺刻は強く粗,翅端を除くほぼ全面に広がり,腹端の溝の形が異なる。本種もススキにつくようである。

県下の記録は1例あるのみであるが,調査不十分と考えられる。

産地. 龍野市神岡町(1ex.,21.VII.1988).

Subfamily *Trachyinae* Gory et Laporte,1840

チビタマムシ亜科

Genus *Aphanisticus* Latreille,1810

ケシタマムシ属

59. *Aphanisticus congener* E.Saunders,1873

クロケシタマムシ

体長,3mm内外. 黒色,短太,顔面は浅くくぼみ,中央に不明瞭な縦溝がある。頭胸部は大きく浅いあばた状の点刻を粗布する。上翅の点刻は前半で強く後半で不明瞭。

兵庫県下での記録は次のものがあるだけである。産地. 尼崎市武庫元町[斉藤,1991].

60. *Aphanisticus yasumatsui* Y.Kurosawa,1954

ヤスマツケシタマムシ

体長,3-4mm. 頭胸部は真鍮色が強く,細かい皺肌状。複眼の内側は強く鋭く稜状に突出する。小楯板は背面より見えない。上翅には青銅緑色の紋があり,基半部には2本の強い縦隆条を走らす。兵庫県下の分布はあまり知られていない。

産地. 宝塚市武田尾[小田中,1994]. 宍粟郡音水(1ex., 11.VI.1972), 赤西[秋山,1980]. 水上郡青垣町神楽[高橋,1960,1962].

Genus *Endelus* Deyrole,1864

エグリタマムシ属

61. *Endelus collaris* (E.Saunders,1873)

キンイロエグリタマムシ

体長,4.5-6mm. エグリタマムシ属は触角の先端6節が鋸歯状で脛節は自由。頭胸部は赤色ないし赤銅色を帯びることが多く,浅い円形のあばた状点刻を散布する。

兵庫県下の記録は次の1例のみ。

産地. 城崎郡香住町香住岬[29.IV.1974,Y.Kurosawa det. 高橋,1976,1982].

62. *Endelus pyrrosiae* Y.Kurosawa,1985

アカガネエグリタマムシ

体長,4-5.5mm. 複眼の内縁は稜状にならない。前胸背板の側縁は中央前で湾曲が強く不明瞭に段刻される。久松定成博士は *Endelus japonicus* Obenberger として洲本三熊山産を記録した(1974)。黒沢良彦博

士は真の *Endelus japonicus* は日本に産しないようだと言われた(甲虫ニュース,31/32:4,1975).

黒沢良彦博士は上記学名で淡路島を分布にカラーで図説された(1985).

伊藤 武は *Endelus* sp. アカガネエグリタママシとして三熊山城趾の石垣にびっしりと生えたヒトシバ(うらぼし科)の葉上に多数見出すことができた(150exs.採集)報告された(きべりはむしVol.12, No.2, p.56, 1984).

現在, 兵庫県下で淡路島以外の産は知られていない.

産地. 洲本市三熊山[久松,1974, 伊藤,1984], 淡路島[黒沢,1985].

### Genus *Trachys* Fabricius, 1801

#### チビタママシ属

#### 63. *Trachys auricollis* E.Saunders, 1873

##### クズノチビタママシ

体長, 3-4mm. 頭楯の幅は長さの約1.3倍, 頭胸部の毛は金色, 上翅の毛は黒く銀白色, 顔面のえぐれは浅く, 肩部のくぼみも不明瞭, 肩部は強く張り出す. クズにつく.

兵庫県下では極めて普通に得られ, 広く分布している.

産地. 三原郡南淡町福良[辻,1973], 諭鶴羽山[堀田, 1978]. 川西市笹部, 芋生[仲田,1982]. 伊丹市[河上, 1984]. 宝塚市上佐曾利, 安倉北[伊藤,1992]. 神戸市六甲山[Y.Kurosawa,1959] (3exs.,23.VI.1968). 摩耶山(1ex.,27.V.1953,etc.), 芦谷溪谷(1ex.,13.IX.1982), 石井ダム(2exs.,18.X.1991), 烏原(1ex.,11.VI.1967,etc.), 藍那(1ex.,4.VI.1986,etc.), 逢山峡(1ex.,17.V.1985), 北区八多町屏風(1ex.,4.VI.1993), 多井畑(1ex.,27.IX.1990,etc.). 美濃郡吉川(1ex.,29.VIII.1985). 多可郡烏羽(2exs.,29.IV.1972). 飾磨郡夢前町我孫子(2exs.,1.V.III.1980), 家島[上田,1981]. 揖保郡新宮町福原(1ex.,22.VI.1992). 相生市三濃山(3exs.,3.V.1969,etc.). 宍粟郡福知溪谷(8exs.,20.VI.1976), 原(1ex.,11.V.1979), 音水(1ex.,13.VII.1959,etc.). 多紀郡篠山町天地山[辻, 1970], 雨石山[Hayashi,etc.]. 水上郡[山本,1958], 山南町(3exs.,11.VII.1990,etc.). 養父郡水ノ山(5exs.,27.VII.1956).

#### 64. *Trachys broussonetiae* Y.Kurosawa, 1985

##### コウソチビタママシ

体長, 2.7-3.0mm. 頭楯の幅は長さの約1.7倍. 金褐色と銀白色毛を混じた毛斑がある. やや瘦形. コウソ, カジノキなどにつく.

兵庫県下に広く分布しているように思われる.

産地. 川西市笹部[仲田,1982]. 神戸市布引(2exs.,17.V.1959), 山の街(1ex.,7.VI.1959), 芦谷溪谷(2exs.,13.IX.1982), 烏原(1ex.,11.VI.1967,etc.), 伊川谷(1ex.,4.X.1988), 多井畑(2exs.,27.IX.1990). 三木市大村(1ex.,10.V.1990). 相生市三濃山(4exs.,3.V.1969,etc.). 宍粟郡音水(1ex.,5.VII.1990,etc.). 水上郡山南町(1ex.,5.VII.1990,etc.). 養父郡水ノ山(1ex.,27.VII.1956). 美方郡扇ノ山[辻,1970, 辻岸田,1972].

#### 65. *Trachys cupricolor* E.Saunders, 1873

##### ドウイロチビタママシ

体長, 3.8-4.3mm. 明るい赤銅色. 上翅には金褐色毛と銀白色毛による毛斑がある. 頭楯の幅は長さの約2倍. ケヤキにつく.

兵庫県下での記録はわりと少ない.

産地. 川辺郡猪名川町杉生新田[仲田,1982]. 神戸市六甲山(1ex.,24.VI.1953), 二十渉(1ex.,26.VI.1953), 烏原(1ex.,24.V.1953,etc.), 山の街(1ex.,17.V.1953), 藍那(1ex.,10.VI.1978). 相生市三濃山(2exs.,20.V.1973). 宍粟郡音水(5exs.,31.V.1970,etc.).

#### 66. *Trachys griseofasciata* E.Saunders, 1873

##### ナミガタチビタママシ

体長, 3.4-4.1mm. 体色は赤銅色を帯び, 毛はチョコレート色を帯び, 頭楯の幅は長さの約2倍. ムクノキ, エノキときにケヤキにつくと.

兵庫県下には広く分布している.

産地. 伊丹市[河上,1984]. 尼崎市西南部[新家,1991]. 宝塚市佐曾利(1ex.,13.V.1983, YHachitani leg.). 神戸市御影[関,1933], 六甲山(1ex.,18.VI.1967), 山の街(3exs.,17.V.1953,etc.), 谷上(1ex.,25.V.1958), 丹生山(1ex.,18.V.1958), 太山寺(1ex.,3.V.1967), 烏原(1ex.,3.VII.1966,etc.). 多可郡烏羽(1ex.,1.VI.1975). 揖保郡新宮町福原(1ex.,10.VI.1992,etc.). 相生市三濃山(1ex.,7.V.1972). 宍粟郡福知溪谷(4exs.,20.VI.1976), 音水(1ex.,21.V.1972,etc.). 水上郡[山本,1958]. 城崎郡城崎町来日[高橋,1959,1982].

#### 67. *Trachys incornspicua* E.Saunders, 1873

##### ウメチビタママシ

体長, 2.5mm内外. 紫銅色, 銀白色の毛斑がある. 頭

楯の幅は長さの約1.5倍。ウメ、アンズ、スモモなどにつくと。

兵庫県下には広く分布しているようだ。

産地。川西市笹部〔仲田,1978〕。宝塚市宍布神社〔小田中,1994〕。芦屋市〔Kurosawa,1959〕。神戸市六甲山(1ex.,8.V.1955),二十渉(1ex.,26.VI.1955),山の街(1ex.,17.V.1953),谷上(2exs.,29.IV.1958),逢山峡(1ex.,2.VII.1982),白川(1ex.,11.XI.1982),鳥原(1ex.,24.V.1953,etc.),伊川谷(3exs.,7.VI.1988,etc.)。相生市三濃山(4exs.,1.VI.1974)。宍粟郡音水(2exs.,13.VII.1958)。豊岡市京町〔高橋,1975,1982〕。

68. *Trachys inedita* E.Saunders,1873

マルガタチビタマムシ

体長,2.9-3.1mm。コウゾチビタマムシによく似ている種。円形で肩部の突出が弱く、頭楯の幅は長さの約1.5倍、上翅会合部の暗色部は顕著。エノキにつく。兵庫県下の分布はあまり知られていない。

産地。三原郡南淡町福良〔辻,1973,久松,1973〕。川西市笹部〔仲田,1978,1982〕。揖保郡新宮町福原(1ex.,10.V.1992,etc.)。宍粟郡赤西(1ex.,27.V.1979)。多紀郡篠山町〔辻,1970〕。

69. *Trachys mimuta salicis* (Lewis,1892)

ヤナギチビタマムシ

体長,2.5-3.8mm。頭楯の幅は長さの約1.3倍。上翅はときに青味を帯びる。ヤナギ類につく。

兵庫県下には広く分布していて普通に得られる。産地。西宮市盤滝(7exs.,22.V.1987,etc.)。神戸市六甲山(1ex.,15.VII.1956),鳥原(1ex.,5.VI.1966,etc.),谷上(2exs.,29.IV.1958),藍那(1ex.,4.VI.1967),丹生山(1ex.,5.V.1966),八多町屏風(1ex.,12.V.1993)。三木市口吉川(1ex.,4.IX.1986)。多可郡三谷(2exs.,24.V.1975),鳥羽(2exs.,29.IV.1972,etc.)。神崎郡笠形山(1exs.,12.VI.1966,etc.),砥ノ峯(1exs.,15.VII.1977)。朝来郡生野(2exs.,8.VIII.1956)。揖保郡新宮町福原(1ex.,17.IX.1992)。宍粟郡音水(12exs.,10.V.1970,etc.)。多紀郡篠山町小金岳,篠山町〔辻,1970〕,上籠坊〔仲田,1982〕。氷上郡〔山本,1958〕。出石郡床尾山〔高橋,1982〕。城崎郡日高町奈佐路(1ex.,25.X.1985,etc.)。養父郡氷の山(2exs.,25.VII.1955,etc.)〔辻,1970,高橋,1982〕。

70. *Trachys reitteri* Obenberger,1930

マメチビタマムシ

体長,2.4-3.0mm。ヌスビトハギチビタマムシに似ているが暗色。体はやや平圧され、複眼の内縁に沿って隆条がある。頭楯の幅と長さはほぼ等しい。ヤブマメ,タンキリマメ,ダイズ,クズなどにつく。

兵庫県下には広く分布しているようである。

産地。川辺郡猪名川町杉生新田〔仲田,1979,1982〕。西宮市船坂(1ex.,21.V.1987,etc.)。神戸市六甲山(1ex.,8.V.1955),鳥原(1ex.,24.V.1973),石井ダム(1ex.,18.X.1991),山の街(1ex.,17.V.1953),妙法寺(1ex.,11.XI.1978),谷上(1ex.,1.VI.1986,etc.),逢山峡(1ex.,17.V.1986,etc.)。多可郡鳥羽(1ex.,29.IV.1972)。揖保郡新宮町福原(1ex.,15.V.1992)。相生市三濃山(1ex.,7.V.1973,etc.)。赤穂市天和(1ex.,25.IX.1974)。宍粟郡音水(2exs.,13.V.1973,etc.)。多紀郡雨石山〔Hayashi etc.,1995〕。氷上郡柏原〔山本,高橋,1961,1962〕。

71. *Trachys robusta* E.Saunders,1873

サシゲチビタマムシ

体長,3.6-4.6mm。ダンダラチビタマムシに似ている。上翅の毛斑は金褐,銀白及び黒色の3色,前胸背板の側縁は直線的に狭まり,弧状を呈しない。スタジイにつくと。

県下での記録はあまり多くない。

産地。洲本市三熊山〔久松,1974〕。神戸市鳥原(1ex.,24.V.1953,etc.),山の街(1ex.,13.VI.1954,etc.),丹生山(1ex.,5.V.1956,etc.)。相生市三濃山(1ex.,16.VI.1974)。宍粟郡音水(1ex.,21.V.1972,etc.)。豊岡市愛宕山〔高橋,1975,1982〕。

72. *Trachys saundersi* Lewis,1892

ソーンダースチビタマムシ

体長,3.3-4.5mm。頭楯の幅は長さの約1.8倍。頭胸部の毛は金色,銀白色を混じ上翅の毛は銀白色,ときに会合部に金色毛を混ぜる。ウツギにつく。

兵庫県下には広く普通に産する。

産地。三原郡諭鶴羽山〔久松,1973〕。川辺郡猪名川町上阿古谷〔仲田,1978,1982〕。神戸市六甲山(2exs.,8.V.1955,etc.),鳥原(1ex.,2.V.1954,etc.),逢山峡(1ex.,27.VI.1987),丹生山(1ex.,5.V.1956),谷上(2exs.,25.V.1958),北区八多町屏風(1ex.,10.VI.1993,etc.)。多可郡三谷(1ex.,26.VIII.1975),鳥羽(4exs.,29.IV.1972,etc.)。神崎郡砥ノ峯(1ex.,2.V.1977,etc.)。朝来郡生野(2exs.,8.VII.1956)。揖保郡新宮町福原(1ex.,10.VI.1992)。相生市三濃山(3exs.,7.V.1972,etc.)。宍粟郡福知溪谷(1ex.,16.VI.1975,M.Yuma leg.),原(6exs.,11.V.

1979), 音水 (5exs., 10.V.1970, etc.), 赤西 (2exs., 27.V.1979), 坂ノ谷 (2exs., 22.VII.1979), 水谷 (1ex., 17.VII.1981). 多紀郡篠山町 [辻, 1970]. 水上郡 [山本, 1958]. 城崎郡三川山 [高橋, 1975, 1982], 日高町奈佐路 (1ex., 19.VI.1986). 養父郡氷の山 [高橋, 1956, 1982, 辻, 1970, Y.Kurosawa, 1959]. 美方郡扇ノ山 [高橋, 1982].

### 73. *Trachys tokyoensis* Obenberger, 1940

#### ヌスピトハギチビタマムシ

体長 2.3–3.1mm. 真鍮光沢が強く、金褐色毛と銀白色毛を混じた毛斑がある。頭楯は狭い、毛斑はときに全体灰白色または黄灰色。日陰のヌスピトハギにつくといわれている。

兵庫県下の記録は大変少ない。

産地。宝塚市売布神社 [小田中, 1994]. 宍粟郡音水 (5exs., 31.V.1970, etc.).

### 74. *Trachys toringoi* Y.Kurosawa, 1951

#### ズミチビタマムシ

体長 3.5mm 内外。頭楯の幅は長さの約 1.35 倍。前胸背板の金色毛は粗で銀白色毛が多く、顔面のえぐれは強く、上翅肩部のくぼみも強い。クズノチビタマムシに似ている。ズミ、リンゴ、クサボケ、マルメロ、ザイフリボクなどにつくと。

兵庫県下に広く分布しているようである。

産地。川西市笹部 [仲田, 1982]. 神戸市鳥原 (1ex., 29.V.1977, etc.), 北区八多町屏風 (6exs., 6.V.1993, etc.). 多可郡三谷 (1ex., 26.VIII.1955), 鳥羽 (2exs., 2.VIII.1975, etc.). 神崎郡大河内町川上 (1ex., 7.V.1977, etc.). 相生市三濃山 (2exs., 7.V.1972, etc.). 宍粟郡音水 (1ex., 31.V.1970, etc.). 多紀郡篠山町 [辻, 1970]. 豊岡市愛宕山 [高橋, 1975, 1982].

### 75. *Trachys tsushimae* Obenberger, 1922

#### アカガネチビタマムシ

体長 3–3.5mm. 頭楯の幅は長さの約 1.3 倍、触角窩直上の小孔は深い。上翅の毛は淡褐色と白色。後方の 2 帯紋は会合線に沿い連絡。ウツギにつくと。

兵庫県下に広く分布している。

産地。三原郡諭鶴羽山 [久松, 1974]. 川西市笹部 [仲田, 1978, 1982]. 宝塚市玉瀬 [伊藤, 1992]. 神戸市御影 [関, 1933], 鳥原 (2exs., 1.VI.1969), 山の街 (2exs., 17.V.1953, etc.), 丹生山 (1ex., 18.V.1958, etc.), 藍那 (1ex., 10.VI.1978, etc.), 下谷上 (1ex., 12.X.1979). 飾磨郡雪彦山 (3exs., 14.VII.1957). 多可郡鳥羽 (1ex., 1.VI.1975, etc.).

神崎郡大河内町川上 (1ex., 4.VI.1977). 相生市三濃山 (1ex., 7.V.1982). 宍粟郡音水 (2exs., 10.V.1970, etc.), 原 (6exs., 11.V.1979). 多紀郡雨石山 [Hayashi, etc., 1995]. 水上郡青垣町神楽 [山本, 高橋, 1961, 1962]. 豊岡市河谷 [高橋, 1975, 1982]. 養父郡氷の山 [辻, 1970].

### 76. *Trachys variolaris* E.Saunders, 1873

#### ダンダラチビタマムシ

体長 3.0–4.2mm. 淡黄、金褐、銀白および黒色の 4 色の毛からなる複雑な毛斑がある。頭楯の幅は長さの約 2 倍、前胸背板側縁は弱い弧状、ナラ類、クヌギ、カシワ、カシ類につくと。

兵庫県下には広く分布し、普通に見られる。

産地。三原郡福良 [久松, 1993]. 川辺郡猪名川町木間生 [仲田, 1978]. 川西市笹部 [仲田, 1978, 1982]. 伊丹市 [河上, 1984]. 宝塚市売布神社 [小田中, 1984]. 西宮市船坂 (1ex., 21.V.1987, etc.). 神戸市六甲山 (1ex., 8.V.1955), 石楠花山麓 (2exs., 1.VI.1984), 山の街 (2exs., etc.), 藍那 (1ex., 10.VI.1978), 谷上 (1ex., 3.V.1957, etc.), 西鈴蘭台大山公園 (1ex., 23.VIII.1982, etc.), 須磨 (1ex., 9.VII.1982, Y.Hachitani leg.), 鳥原 (1ex., 5.V.1981, etc.), 石井ダム (1ex., 18.X.1991), 逢山峡 (1ex., 14.V.1985), 垂水学園研究 (1ex., 10.V.1985), 伊川谷 (1ex., 28.IX.1988, etc.), 太山寺 (2exs., 17.V.1979), 多井畑 (1ex., 26.VII.1990), 八多町屏風 (1ex., 6.V.1993, etc.), 藍那 (2exs., 28.IV.1993, etc.). 三木市口吉川笹原 (1ex., 26.IX.1986). 美婁郡吉川町奥山 (1ex., 5.VI.1986). 小野市山田 (1ex., 16.V.1987, etc.). 飾磨郡家島 [上田, 1981]. 龍野市神岡町 (1ex., 8.V.1988, etc.). 揖保郡新宮町福原 (1ex., 10.VI.1992). 相生市三濃山 (1ex., 7.V.1972). 佐用郡大撫山 (1ex., 2.V.1978). 宍粟郡音水 (1ex., 31.V.1970). 多紀郡西紀町 (1ex., 27.IV.1984, Y.Hachitani leg.), 雨石山 [Hayashi etc., 1995]. 水上郡 [山本, 1958].

### 77. *Trachys yanoi* Y.Kurosawa, 1959

#### ヤノナミガタチビタマムシ

体長 2.6–4.2mm. ナミガタチビタマムシに似ている。体色は唐金色が強く、赤銅色を帯びることなく毛は明るい褐色。頭楯の幅は長さの約 1.5 倍。ケヤキにつくと。

兵庫県下の記録はわりと少ない。

産地。川西市笹部 [仲田, 1978, 1982]. 伊丹市 [河上, 1994]. 宍粟郡音水 (1ex., 13.V.1973). 城崎郡城崎町来日 [高橋, 1975, 1982]. 養父郡氷の山 [辻, 畑中, 1973, 高橋, 1982].

Genus *Habroloma* Thomson, 1864

ヒラタチビタマムシ属

78. *Habroloma elegantula* (E.Saunders, 1873)

ヒラタチビタマムシ

体長, 2.4-3.0mm. ヒラタチビタマムシ属 *Habroloma* はチビタマムシ属 *Trachys* に似ているが, 上翅の側縁に沿って明瞭な側隆線を走らせることで区別される。

本種は黒色で多少唐金色を帯び, 毛斑は銀白毛のみか, または銀白色毛と黄灰色を混ぜる。前胸背板の陥凹中に小孔があり, 前胸腹板突起は両側はほぼ平行で先端は多少角ばる。

ナワシロイチゴを主としたキイチゴ類につく。県下に広く分布している。

産地. 西宮市盤滝(1ex., 29.V.1987, etc.). 神戸市六甲山(1ex., 21.VIII.1958), 藍那(1ex., 5.VII.1978), 芦谷溪谷(1ex., 13.IX.1982), 烏原(1ex., 8.V.1981, etc.), 神崎郡大河内町川上(1ex., 7.V.1979). 相生市三濃山(1ex., 7.V.1972, etc.). 揖保郡鶏籠山(2exs., 27.V.1970). 宍粟郡原(2exs., 11.V.1979), 音水(1ex., 13.VII.1958, etc.), 赤西(2exs., 21.V.1979). 多紀郡篠山町[辻, 1970]. 氷上郡[山本, 1958]. 美方郡浜坂[高橋, 1975, 1980].

79. *Habroloma atronitidum* (Gebhardt, 1928)

ヒメヒラタチビタマムシ

ヒラタチビタマムシによく似ていて小型で後方に急に狭まり, 前胸背板は上翅より幅広くなり, 形が三角形に近い。キイチゴ類につくといわれているが, 県下では下記の記録のみ。

産地. 氷上郡山南町(1ex., 5.VII.1990).

80. *Habroloma eximium* (Lewis, 1892)

ツマキヒラタチビタマムシ

体長, 2.8-3.0mm. 淡黄褐色毛と銀白色毛を混じた毛斑があり, 赤褐色部の毛は暗赤褐色, 前胸背板は小孔を欠くか不明瞭。ハイノキ類につくと。

県下での記録は次のものを知るだけである。

産地. 川辺郡猪名川町黒川新滝道[斉藤, 1991].

81. *Habroloma griseonigra* (E.Saunders, 1873)

ハイイロヒラタチビタマムシ

体長, 2.3-3.0mm. 地色は黒色でやや唐金色を帯びる。毛斑は銀白色, 黒色部には暗色の毛がある。前胸部の毛には淡黄褐色の毛が混じる。クヌギ, カシ

類につくと。

兵庫県下に広くいそうに思われる。

産地. 川西市笹部[仲田, 1978, 1982]. 西宮市盤滝(1ex., 29.V.1987). 相生市三濃山(1ex., 18.V.1974). 宍粟郡音水(1ex., 4.V.1972, etc.).

82. *Habroloma lewisi* (E.Saunders, 1873)

ルイスヒラタチビタマムシ

体長, 2.5-3.2mm. 毛斑は淡金褐色毛と銀白毛とからなり, ほかに黒色毛がある。前胸背板は陥凹中の小孔を欠くか, またはごく不明瞭。Lewis の第1回旅行の採集品であるから神戸か長崎の採集品であろうとされている(黒沢, 1976)。ノイバラにつくと。

県下の記録はそれ程多くない。

産地. 飾磨郡家島[上田, 1981]. 相生市三濃山(1ex., 20.V.1973). 多紀郡篠山町篠山城跡[辻, 1970]. 養父郡関宮[奥谷, 1955, 高橋, 1981], 氷の山[高橋, 1982].

83. *Habroloma yuasai* Y.Kurosawa, 1976

ナガヒラタチビタマムシ

体長, 2.8-3.2mm. 地色は唐金色を帯び, 金褐色毛も強い。前胸背板の陥凹中に小孔があり, 前胸腹板突起は後方にひろがり先端は丸みがある。ノグルミにつくと。

県下の記録は少ない。

産地. 神崎郡大河内町川上(1ex., 2.VII.1977). 相生市三濃山(1ex., 6.V.1973, etc.).

<参考文献>

本報文作製に当たって参考にした文献のみで, 兵庫県関係のものは初めに記したごとく筆者がまとめて発表している"兵庫県産甲虫類に関する文献目録"(1975, 1981, 1984, 1995)を参照頂きたい。

K.Akiyama & S.Ohmomo(1979) Notes on the Japanese Buprestidae (I) *Chrysobothris amurensis* Pic, new to the fauna of Japan (Coleoptera, Insecta)

Sci. Rept. Yokohama City Mus., (26):69-71.

K.Akiyama & S.Ohmomo(1995) The Motschulsky's types of Japanese Buprestidae in the Zoological Museum of the Moscow Lomonov State University.

Jpn. J. syst. Ent., Matsuyama I:175-180.

秋山黄洋・大桃定洋(1997) コレクションシリールズ・タマムシ Endles Coll. Series Vol.2:1-59.

- 秋山黄洋・大桃定洋(1997) 日本産タマムシ科チエックリスト 月刊むし Suppl.I, p.1-67(Mushisha, Tokyo).
- 秋山黄洋・大桃定洋・関章弘(1995) 世界のアカヘリミドリタマムシ 月刊むし(291):4-9.
- 中條道夫・黒沢良彦(1950) 四国のタマムシ類. 四国昆虫学会々報 1(1):1-16.
- 藤田 宏(1986) キンモンフタオタマムシのニュースを聞いて…… 月刊むし(189):22.
- 藤田 宏(1994) ヤノコモンタマムシ採集記 -15年ぶりの岡山- 月刊むし(281):5-8.
- 平山修次郎(1933) 原色千種昆虫図譜 pl.66 (三省堂・東京)
- 平山修次郎(1937) 原色千種續昆虫図譜 pl.66, p.141-142. (三省堂・東京)
- 平山修次郎(1940) 原色昆虫図譜 pl.6, p.11-12, pl. 26, p.67-68, pl.27, p.70-73. (三省堂・東京)
- 伊賀正汎(1955) 原色日本昆虫図鑑 甲虫編 増補改訂版 pl.22-24, p.73-82. (保育社・大阪)
- 神谷一男・安立綱光(1933) 原色昆虫図譜 pl.22,23. (三省堂・東京)
- 加藤正世(1933) 分類原色日本昆虫図鑑 第九輯 鞘翅目 pl.28,29. (厚生閣・東京)
- 小林信之(1994) 日本産コモンタマムシ属について 月刊むし(281):9.
- 黒沢良彦(1950) 日本昆虫図鑑 改訂版 p.1111, f.3183-p.1122, f.3217. (北陸館・東京)
- Y.Kurosawa(1959) A Revision of the Leaf-mining Buprestid-beetles from Japan and the Loo-Choo Islands.  
Bull. Nat. Sci. Mus. Vol.4, No.2:202-268.
- Y.Kurosawa(1962) Buprestid-fauna of Eastern Asia (5) (Coleoptera).  
Bull. Nat. Sci. Mus. Vol.6, No.2:90-111.
- 黒沢良彦(1963) 原色昆虫大図鑑 第2巻(甲虫篇) pl.74-78, p.147-156. (北陸館・東京)
- 黒沢良彦(1964) 日本及び近隣吉丁蟲数種の学名に就いて(II) 一新亜種の記載を含む 昆虫世界 50 (574):7-10.
- 黒沢良彦(1968-1976) 日本産タマムシ科解説(1-19). 甲虫ニュース, (1):1-2. (2):1-2. (4):1-3. (5):1-3. (7):1-2. (8):1-4. (9):1-5. (10):1-3. (11):1-4. (17-18):1-4. (21-22):1-2. (23-24):1-4. (25-26):1-2. (27-28):1-4. (31-32):1-4. (33):1-5. (34):1-5. (35):1-5. (36):1-7.
- Y.Kurosawa(1976) Notes on the Oriental Species of the Coleoptera Family Buprestidae (III).  
Bull. Nat. Sci. Mus. Ser. A (Zool.)2(2):129-136.
- 黒沢良彦(1980) 日本産潜葉性タマムシ類3種の分布に及ぼした黒潮の影響. 国立科学博物館専報 (13):45,51.
- 黒沢良彦(1985) 原色日本甲虫図鑑(III) pl.1-7, p.2-37. (保育社・大阪)
- 三輪勇四郎・中條道夫(1935) 日本未記録のタマムシ. 昆虫界3(17):270-282, pl.105.
- 三輪勇四郎・中條道夫(1936) 日本産鞘翅目分類目録 Pars.1:吉丁蟲科33p. (台湾昆虫研究所)
- 三輪勇四郎・中條道夫(1940) 本邦産タマムシ科の新種及び稀種図説. 日本の甲虫3(2):53-74, pl. VII.
- Lewis, G. (1982) On the Buprestidae of Japan.  
Linn. Journ Zoology, XXIV:327-338.
- T.Nakane(1983) New or Little-known Coleoptera from Japan and its adjacent Regions, XXXVII.  
Rep. Fac. Sci. Kagoshima Univ. (Earth Sci. & Biol.), No.16:109-114.
- 那須 敏・古村俊治(1994) 岡山県で発見されたヤノコモンタマムシ. 月刊むし(281):2-4.
- 西田信夫(1996) 新種キンモンフタオタマムシの発見. 月刊むし(189):20-21.
- M.Toyama(1985) The Buprestid Beetles of the Subfamily Agrilinae from Japan (Coleoptera, Buprestidae)  
ERYTRA, Tokyo 13(1):19-47.
- 遠山雅夫(1986) 日本産フタオタマムシ属の1新種. 月刊むし(189):1-19, pl.1.
- M.Toyama(1988) New Agriline Buprestid Beetles (Coleoptera, Buprestidae) from Asia (II).  
Kontyu 56(4):752-765.
- 横山桐郎(1990) 日本の甲虫 pl.10, p.85-86.
- 横山桐郎(1931) 續日本の甲虫 pl.11, p.82-83. (西ヶ原刊行会・東京)
- (追記) 脱稿後, 松尾隆人氏により *Toxoscelus matobai* Toyama, 1955 ホソクリタマムシを坂ノ谷林道のブナ林で燈火採集にて得たる記録が発表になっている(兵庫県初記録種).  
1ex., 宍粟郡波賀町氷ノ山坂ノ谷 1-2, VIII, 1936, 松尾採集 (月刊むしNo.334, p.15, 1998).  
(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)